



## 明るく、楽しく、元気よく



ある保護者さんが、子どもが家に戻ってきた時のために、図書館で沢山絵本を借りてくださったとのこと。このお便りの最後に、白百合の子どもたちが今読んでいる本を紹介していますが、それを選んで下さったそうです。このような小さな記事からも、子どもの経験を想像してくださる読者の存在を知りました。私たちのこの小さな通信に、毎月、目を通してくださった全ての方々に厚く御礼申し上げます。あっという間に今年度最後のお便りとなりました。引き続き、来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

真生会 白百合ベビーホーム 理事長/院長 青木紀久代

## 写真で振り返るベビーホームの1年

春



夏



秋



冬



今年も1年を通して季節を感じる遊びやイベントに子どもも大人も全力で取り組んできました。来年度もおたよりの名前の通り『明るく、楽しく、元気よく』過ごす子どもたちとの日常やプログラム、各委員会の情報を発信していきます。今後ともよろしくお願いいたします。

## たんぽぽ・すずらん



2月の節分には鬼が登場！「鬼、来るかな？」「鬼が来たら〇〇くんがやっつけるよ！」と大きい子どもたちはドキドキしながらも豆まきの練習をしていました。実際に鬼が来ると泣き出してしまいうちもいましたが、「お友だちと仲良くな。」と鬼さんと約束をして、仲直りしました。昨今は薄れてしまいがちな日本の伝統行事に触れる良き1日でした。今年度は月毎の遊びのテーマを中心にたくさん身体を動かしたり、新しい体験をしたり、ウキウキする毎日が過ごせました。



## ひまわり・なのほな

まだまだ朝晩の冷え込みは厳しいものの、日中は暖かな日差しが差し込み、春の訪れも少しずつ感じています。先日、テラスに出て皆でお弁当を食べました。「お外、気持ちいいね」「鳥さんもお飯の時間なのかな？」と子どもたちの心もポカポカの昼食となりました。また、お部屋では、小麦粉粘土をした日もありました。最初は戸惑っていたうちもいましたが、だんだん慣れてくると「おもしろーい！」と感触を楽しんでいた子どもたちです。

## あさがお・すみれ



絵本を見て、鬼が大好きになっていた子どもたちは、節分に関係なく鬼の絵を見つけると「おに！おに！」と教えてくれていました。節分の鬼退治の話をする、鬼が来ることが楽しみな様子で「おにくる？」と笑顔で聞いていました。節分当日、いざ鬼が来ると、始めのうちこそぼんやりと眺めていますが、急に怖くなって近くに来ると泣いて逃げようとする子が多く、後になって聞くと「こわかったの」と教えてくれました。でも、みんなの心には怖い鬼と優しい鬼がいるらしく、今も優しい鬼を思い描いて鬼の話を楽しそうにしてくれています。

## もも・あんず



節分の日に鬼がやって来ました。来る前には豆に見立てたボールで、投げる練習。元気に「おには一そと」とできていたのですが…。やっぱり実際の鬼が来ると怖くてボールを投げることはできませんでしたが、「オニ、来たね」「赤いオニだったね」と後から思い出してお話をしていました。また、今月の遊びは新聞紙や空き箱を使って、お店屋さんごっこ。お店に品物を並べると、お買い物に来たお友だちが袋に詰めていきます。買った品物を「見て、見て」と嬉しそうに見せてくれました。

# 今年 1 年を振り返って

## たんぽぽ・すずらん



今年は 2 歳を過ぎた子が多いユニット編成で、子どもたちのリクエストに応じて長い滑り台のある公園や、時には消防署や買い物へ出かけました。またちゃーちゃんと一緒に入浴をし、食事は 3 食とも一緒に食卓を囲むようになりコロナ前の生活に戻りました。子どもたちとクッキングをしたり、配膳のお手伝いをしたりすることを取り入れ、家庭的な雰囲気大切に過ごしました。

## ひまわり・なのはな

天気のいい日はお散歩に出かけ、歩く力がついてきました。日用品やおやつはできるだけ一緒にお買い物。クッキングやお手伝い等、生活体験も大事にしてきました。毎日の生活や遊びの中でやりとりや会話を重ね、思いや感じたことを大人とだけでなく、子ども同士でも楽しむまでに育ってきた一年でした。



## あさがお・すみれ



小さな赤ちゃんが多いスタートとなりましたが、今ではハイハイをしたり、つかまり立ちをしたり、歩いたり、自分たちの世界が広がっています。大きなお友だちは、自然に触れる遊びやクッキング、感触遊び等、自分のしたいことを教えてくれるようになり、お友だちや大人と一緒に楽しむようになりました。

## もも・あんず

新生児から幼稚園に通う子までの子どもたちでスタートした年でしたが、他部門の協力もあり、無事に年度末を迎えようとしています。喧嘩もするけれど、何かがあると子ども同士で「だいじょうぶ？」と声をかけたり、頭をなでてあげたり、優しい気持ちが育ってくれたことがとても嬉しいです。



## 調理

ランチルームに差し込む柔らかい日差しに春を感じる季節になりました。早いもので一年前は小さく感じた子どもたちでしたが、今では立派なお兄さん、お姉さん。自信に溢れてきらきらと輝いています。食事に対する姿勢もしっかり成長しています。食べる前には、自分から手を洗い、椅子を用意し、みんなのお茶を配ります。「いただきます」と、大きな声であいさつもできます。スプーンを上手に使い、よく噛んで口を閉じて食べられます。周りの人とコミュニケーションを取りながら楽しい食事の時間を過ごすことができます。食べた後には、自分の食器を自分で下げてごちそうさま。「美味しかったよ～いっぱい食べたよ～」と大きなお腹を見せてくれます。それが調理さんの一番嬉しい時間です。



## 環境

昨年度より始まった「環境部門研修」を、研修場所を変えて今年度も行い、安全・安心な施設に対する職員の意識向上に取り組んできました。それにより他部門とさらに連携がスムーズになり、日々発生する修理やメンテナンスに関してもスピーディーに解決することができるようになりました。清掃という枠にとらわれない柔らかな頭で、縁の下を支えたいと思います。



## 総務



ベビーホームの窓口として、外部機関や院内の各部門と連携を図り、施設全体を支えることを目標に取り組んできました。ちゃーちゃんと事務所に遊びに来てくれる子どもたちの成長に、1年という月日の重みを感じさせられます。今年度は総務に4名の新メンバーを迎え、養育へのサポートを強化させた1年でした。

## ひろば

今年度も防災訓練や炊き出し訓練、外部講師のプログラムや地域の公園遊びではベビーホームの子どもたちと地域の親子さんが一緒に楽しみました。これからも楽しい時間や体験を共有していけるよう取り組みます。



## 今月の遊び

今月の遊びは「おみせやさん」です。  
先日、子どもたちと100円ショップへ買い物に行ってきました。3歳のお兄さんがお店屋さんとなり、ユニット内で「おもちゃやさん」を開きました。自然と「いらっしゃいませー！」と大きな声を発し、店員さんになりきる姿に成長を感じました。

いらっしゃいませー！



発行元 横浜市泉区中田東 1-41-3  
白百合ベビーホーム  
責任者 院長 青木 紀久代  
電話 045-803-0398

## 今月の絵本

ぼぼんびぼんぼん

めっきらもっきら  
どおんどん

文：松竹いね子

作：長谷川摂子

絵：ささめやゆき

画：ふりやなな

福音館書店

福音館書店

### 3月の予定

- 3日 ひなまつり
- 4日 ダンスプログラム
- 8日 音楽プログラム
- 12日 リトミック
- 13日 防災訓練
- 15日 おはなしの会
- 24日 アートプログラム

